



原田英代 ピアノ・リサイタル ～葛藤～

ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ 第8番 ハ短調 op.13「悲愴」

シューマン:交響的練習曲 op.13

メトネル:忘れられた調べ 第1集 op.38より 第1曲 回想ソナタ

ラフマニノフ:幻想的小品集 op.3より

第1曲 悲歌 変ホ短調/第3曲 メロディ ホ短調/第4曲 道化師 嬰ハ短調

ラフマニノフ:練習曲集「音の絵」op.33より 第8番 ト短調/第9番 嬰ハ短調

ラフマニノフ:前奏曲集 op.23より 第6番 変ホ長調/第5番 ト短調

<公演に寄せて>

ドイツ音楽とロシア音楽で綴る人生ドラマ、第2回目のテーマは、『葛藤』です。

『葛藤』の作曲家の第一人者は、何と言ってもベートーヴェン。今回はベートーヴェンが創造主に対して闘いを挑んだ『悲愴』ソナタで幕を明けます。続いてシューマンの『交響的練習曲』。これはもともと『悲愴的変奏曲』と名付けられていた作品で、シューマンが自己と葛藤する様が描かれています。

後半はロシアの作曲家、メトネルとラフマニノフ。ドイツ人の血を引くメトネルと貴族出身のラフマニノフはロシア革命の勃発で亡命を余儀なくされます。ドイツ的と言われながらも定評のあったメトネルが革命直後に書いた『回想』ソナタでは、消え去った過去への思いと苦しみは切なく歌われます。最後はラフマニノフの小品。帝政ロシアが革命に向かって進んでいく不穏な時期に書かれた作品から抜粋しました。アヴェンギャルドに移行しつつあるロシアで、己の信念を曲げずに闘ったラフマニノフの内なる声をお聴き下さい。

原田英代

2018年2月25日(日)16:30開場/17:00開演

防府天満宮 参集殿 (山口県防府市松崎町14-1)

入場料(全席自由、税込)

一般 ¥3,000 / 英代&フレンズ会員 ¥2,500*

*同伴者1名まで会員価格

*お茶・お菓子付き

お申し込み/お問い合わせ

英代&フレンズ 防府事務局 桜井写真店

TEL: 0835-22-2389 / FAX: 0835-23-8775 /

E-mail: sakurai-co@k9.dion.ne.jp

原田英代 (ピアノ)

東京芸大、同大学院を経て、渡欧。モスクワ音楽院のメルジャーノフ教授の下で研鑽を積む。84年ジュネーヴ国際音楽コンクール最高位、91年シュベルト国際ピアノコンクール第1位、93年第1回ラフマニノフ国際ピアノコンクールで旧西側参加者の中で唯一入賞を果たす。これまでにWDRケルン放響、スイス・ロマンド管、南西ドイツ・フィル、N響、読響等と共演。独アウディーテより多数のCDをリリース。14年、みすず書房より『ロシア・ピアノイズムの贈り物』を出版。